



権利をまもる道を進もう 世界エイズデー2024

すべての人の権利が守られれば、エイズ終結は可能です。

人権を中心に据え、コミュニティ主導を重視することで、世界は 2030 年までに公衆衛生上の脅威としてのエイズを終結に導くことができます。

HIV 対策が大きな成果を上げてきたのは、人権の保護に直接、結びついているからです。一方で、HIV 対策を通じて得られた成果は、健康の権利の実現と保健システム強化に向けた進歩を促してきました。

それでも、すべての人の人権を実現するには、まだ大きなギャップがあります。世界はエイズ終結への道を着実に歩んでいるとは言えません。このギャップが公衆衛生に悪影響を及ぼしているからです。現状は人びとの権利に対する攻撃が急増し、これまでの成果すら損なわれてしまう恐れがあるのです。

エイズ終結には、すべての HIV 陽性者、HIV 感染のリスクに直面している人、HIV の影響を受けている人に手を差し伸べなければなりません。とりわけ、社会から最も排除されやすく、疎外されてきた人々への関与が大切になります。ジェンダーの平等は人権に基づくエイズ対策の重要な要素です。受け入れること、尊重すること、ケアすることが不可欠なのです。女性や少女であること、キーポピュレーションや社会的に疎外されやすいコミュニティに属していることを理由に、人びとを罰したり、差別したり、スティグマを助長したりする法律と政策と慣行が、HIV の予防・検査・治療・ケアへのアクセスを妨げています。同じことは、HIV の影響を受けているコミュニティに重要な HIV サービスを提供する人たち、そして改革を提唱する人たちの仕事と活動を妨げている法律や政策、慣行にもあてはまるのです。

エイズ終結の道は権利の道です。国連人権宣言を守り、すべてのコミュニティを受け入れることが、エイズ終結にとって、そして持続可能な開発と人間の安全保障を確保するためにも不可欠です。人びとの権利を脅かす刑法その他の法律を直ちに撤廃すること、そしてすべての人の権利を守る法律を制定し法に基づくアプローチを採用することが緊急に必要です。国際人権枠組みの義務には法的な効力があります。そしてコミュニティには、その義務を負う者が担う人権の約束を果たすように責任を問う権利があります。

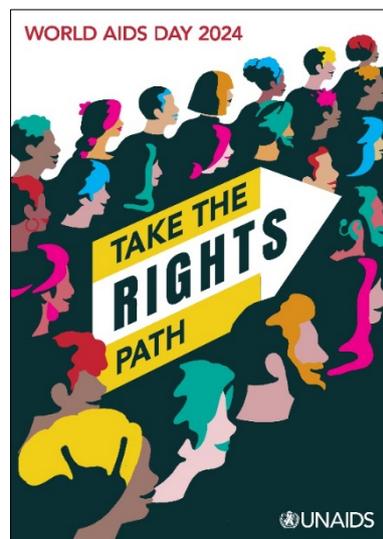
UNAIDS はメッセージの継続性を強調するため、指導者が選択すべき道を共通イメージとしてこのキャンペーンで採用しました。権利の道のイメージです。

世界エイズデーに向けて使用可能な資材は、10月下旬からUNAIDSの世界エイズデー特設ページで公開されます。国やコミュニティごとにカスタマイズすることもできます。キャンペーンのカバー画像は [PDF](#) または [JPG](#) 版をダウンロードしてください。

変化は一つの瞬間に生まれるものではなく、一連の運動の中で生まれてきます。「権利をまもる道を進もう」というメッセージも、1日だけ鳴り響けばいいというものではありません。メッセージは11月を通して継続される活動の中核となり、11月26日には「権利をまもる道を進もう」と題した世界エイズデー報告書が発表されます。12月1日の世界エイズデーで最高潮に達し、12月以降も響き続けるメッセージです。

人権を守ることは効果の高いHIV対策の基盤になります。今年の世界エイズデーは、すべての人の権利の擁護を強調し、すべての人の健康を守るための行動を呼びかけていきます。リーダーたちは権利の道を進む必要があります。

日本語仮訳：公益財団法人エイズ予防財団



ダウンロード [PDF](#) [JPG](#)